

企業紹介

制御技術の総合力が自慢です



株式会社 北越電研
HOKUETSU DENKEN CORPORATION

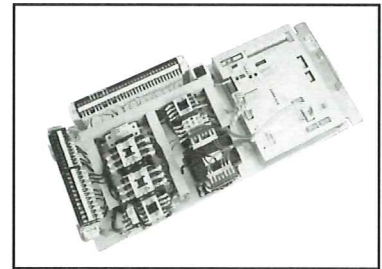
代表取締役 平石 幸史
〒940-1163 長岡市平島1-137
TEL(0258)23-1881 FAX(0258)23-2462
URL <http://www.hdnet.co.jp/>

業 種：電子電機製造
資 本 金：3,000万円
事業内容：電子装置、電子制御装置、電機制御装置の
企画設計製造、コンピュータソフト、
組込ソフト、制御ソフトの開発など

機械を正常に稼働させるために不可欠な制御盤・制御装置などを製造する北越電研(株)。高い技術力とアイデアで、あらゆる機械の制御盤・制御装置の設計から機械配線工事、試運転まで行っている。また、2002年には中国上海に生産工場を設立。成長を続ける中国国内向けに織機などの制御装置を生産するほか、機械制御に関わる部品材料の輸出入販売も行っている。

制御盤の設計から試運転まで一貫した生産システム

同社の創業は1977年。コンピューターで動かすために必要な制御盤・制御装置の開発を創業当時から行っている同社は、その実績を活かし、設計から機械配線、試運転まで自社で行う生産体制を確立している。一方、成長する中国にいち早く注目し、20年以上前から、水や圧縮空気を利用して緯糸を運ぶ中国製のジェット織機の制御装置を製造。一時は、中国で製造されるジェット織機の約90%に同社の製品が使用されるなど高いシェアを占めた。



▲同社が製造する制御盤

中国で日本と同じ品質と管理を維持

また、2002年には今後の成長を見込み、上海に生産工場を設立。上述した中国製ジェット織機の制御装置の製造やメンテナンスを行うほか、アジア地域に進出している日系企業向けの制御盤・制御装置の製造も行っている（ただし、機密保持を要するコンピュータープログラムは日本から輸出）。同工場には、現在、日本の技術者4人が在駐し、現地スタッフを指導。そのため、品質管理やアフターサービスも徹底しており、日本と同じ品質の製品を中国国内で提供できることから評価も高く、日本の大手機械メーカーからの受注も多い。また、2006年には中国での輸出入に関するライセンスも取得し、部品材料の輸出入販売も可能となったことで、事業の幅も広がっている。

技術力とアイデアを活かした自社製品の開発

一方、長岡市にある本社では、OEM（相手先ブランド製造）による大型制御盤や特殊電子装置、制御ソフトウェアなどの開発、設計を行うほか、自社製品の開発も積極的に取り組んでいる。これまでも、同社では技術力とアイデアを活かした自社製品を数多く生み出しており、赤外線を利用したモータスポーツ用自動計時システムなどは特許を取得している。また、最近では、メモリーカード（SDH、SDHC）に対応できる、膨大な機械の加工データを記録するNCデータレコーダーも開発し、2009年1月から発売する予定だ。さらに、中国事業で主力の織機のエネルギー効率を高めるための制御装置の開発も進めている。「今後は他でできない製品を作る技術がなければ、生き残りは難しい」と平石社長は語る。



▲メモリーカードを使ったNCデータレコーダー



▲中国製の織機の技術開発を日本で進める